

みんなで育てよう、緑豊かな私たちの森！子ども達に贈る自然いっぱい森

能ヶ谷西緑地だより

2026年6月1日号 243号 能ヶ谷西緑地・樹の会

【6月の予定】

- ◆6月13日（土）（雨天翌日）
・南斜面草刈り
- ◆6月27日（土）（雨天翌日）
・小田急住宅下草刈り
- * 9:00 現地集合（9:00～11:30）

- ◆6月6日（土） 10:00～12:00
・やまゆ連・手作りカフェ
平和台集会所



問合せ：伊藤（735-8623）
どなたでも参加自由です。

作業には汚れても良い服装でおいでください。

※※※※※※ 緑地だより ※※※※※※

【緑地に咲く】シャクヤク（芍薬）



ポタン科ポタン属の多年草です。「立てば芍薬座れば牡丹歩く姿は百合の花」と美人の表現にも用いられる美しく存在感のある花です。

名前の由来は、しなやかで優しい姿かたちを意味する「綽約（しゃくやく）」という言葉に由来すると言われていいます。

4月から6月にかけて高さ60cmほどになり、その先に10～15cmの美しい花を咲かせます。

（長谷部）

5月9日（土） 晴 参加者 8名

ぐずついた日もあった連休だが、今日は五月晴れで、日差しは強いが湿気がないので気持ち良い。主な作業は桜広場の草刈り。いつものように草刈り機の人と鎌で刈る人とに分かれて開始。この場所には、背丈60センチ位のカラムシという植物が茂っている。茎の繊維を利用し手芸品を作る事があるので、ある範囲だけ残してあとはすっかり刈る。

次の作業に行く途中、花広場を通ると芍薬が満開。赤紫のひとえの花に見とれながら、小梅のある南斜面に向かう。収穫はまずまず。作業が済み、ストレッチもやり、お茶タイムへ。緑地作業仲間を募るためのチラシ案の最終確認をして、いよいよ印刷を頼むことになった。

（宮崎）

シャクヤク



5月23日（土）曇 参加者6名

今日は、第1公園入口付近の草刈りをした。2台の草刈機を男性2名が元気に動かす。女性がカマで刈り残した草を山のように刈り集めた。近くの斜面から、ユリの葉がゆらりと伸びている。道の方へ伸びてるのを数本竹の棒とヒモで支える。向かいのウグイスカグラの宝石のような赤い実をひと粒口にした。小さいながらも甘酸っぱくて美味しい！中央広場の奥の方にもオレンジ色のモミジイチゴが沢山なっている。これも柔らかくて甘い！野生の小さな実をもいで、食べられる。こんな楽しい事はない。

花広場のシャクヤクの花がローズ色に咲いた。数年前、Kさんが持ってきた種を地面に植えた。植えてから1-2年たっても芽が出てこない。もうあきらめていたら3年目位に小さな芽が出てきたのだった。

頭上の高い樹からかん高いアオゲラの鳴き声を聞き、作業後の体操、ミーティングをした。多くの自然に触れて心の元気がよみがえったように思った。

（森田）

【やままゆ連・手作りカフェ】

ムギ藁の馬とお散歩

5月2日（土） 10:00~12:00

平和台集会所及び緑地

五月晴れ、遠く丹沢越しに富士山がくっきりと見え、鯉のぼりを出している家もある長閑な住宅街を平和台集会場に私は向かいました。

4月や5月はたいていお散歩ですが、今回は「ムギ藁の馬」初体験の人が私も含めて数人いたので、先ず「ムギ藁の馬」作り。それから手作りカフェ、集会場をいつもよりも早めに出てお散歩、西緑地に向かいました。緑地でクサイチゴが、ジャムに出来るほど沢山採れたと散歩を途中で切り上げた私にお知らせいただきました。

さて、「ムギ藁の馬」作り、ムギ藁は乾燥していると折れてしまうので予め水で十分に湿らせておく必要があります。今回、湿らせたムギ藁を使って作る人、曲がり易くメモも出来て手順の理解がし易い紙を使って作る人、私は紙で作りました。

材料は、紙もムギ藁のサイズとほぼ同じ、少し厚みのある幅5mm長さ30cmほど5本を準備する。最初に、この細長い5本の紙の表での面の両端に1から5まで番号を書いておくと理解し易いと先月作られた人から、作品を目の前にして教えてもらいました。織ってゆく手順、1と2を十文字にして2を1を中心に3本が並ぶように左右90度下方向に折る。3を1と2に織り込んだ後に3を下方向に90度折る...見本を参考に織り(折り)進む。

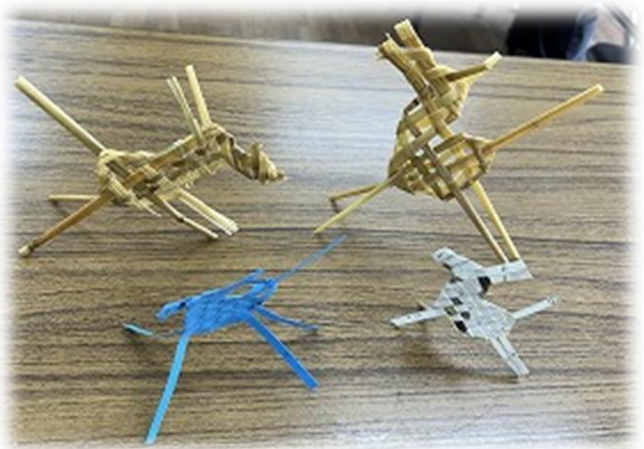
出来上がりは、1が尻尾と口元、2と3のメモが裏面にきて前足2本、4と5が後足2本、3と5のメモが裏面にきて耳2つ。長いところをハサミで切って形を整えると可愛い仔馬の形になりました。見本を見ながら作ると簡単！慣れればメモも不用となって手早く出来るようになるはず、次はムギ藁で作りたいくなりました。

手作りカフェのブラマンジェは一つづつ透明プラスチック容器に入れて持ってきてくださいました。プラスチックは石油由来のナフサが必要。原油産出の多い中東地域が2ヶ月前から政情いっそう不安定となり、これから日本の石油の輸入はどうなるのかしら、の話題もありました。

【やままゆ連・手作りカフェ】

ブラマンジェ、どら焼き など

(斎藤光代)



飛び跳ねる馬たち

緑地チラシ
できました！

チラシは以下からダウンロードできます。
<http://home.a03.itscom.net/ryokuchi/>

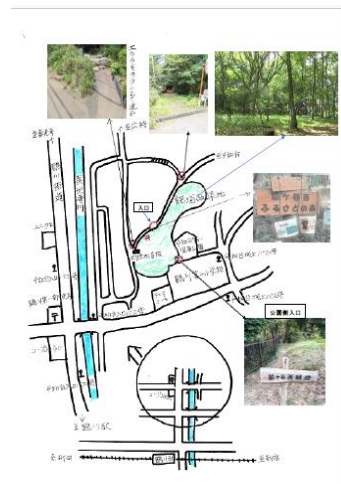
みんなで育てよう、緑がもたらす暮らしのよさを増進しようの街
ちょっと自然に関わってみない？
緑地活動の仲間を募集中！

我が谷西緑地は住宅街の中にある小さな緑です。

仲間づくり
森を元気に
草刈り

お問い合わせ
Mail: yamamayu@nifty.com
Tel: 042-724-2013 (休番)

活動詳細
日時: 毎月第2、第4土曜日 9:00~11:30 (雨天当日)
場所: 我が谷西緑地 (高層地区をご案内下さい)
町田市龍ヶ谷7丁目22
長袖、長ズボン、軍手をご用意ください



【緑地を楽しむ本】

『雲がおしえてくれること』

レイチェル・カーソン/文 ニッキー・マクルーア/絵

千葉茂樹/訳 荒木健太郎/監修

あすなろ書房



この本の著者を見て、びっくり仰天。レイチェル・カーソンはベストセラーだった海の3部作、『沈黙の春』、『センス・オブ・ワンダー』の5冊しか出版していないはずなのに、一体この本はどうなっているの？

本の帯に「幻の原稿が絵本に！」と書いてあります。レイチェルは1956年にテレビ会社からの依頼で「空についての子ども」という番組の台本を書いています。この本はその原稿を絵本化したものだったのです。読んでみると、テレビを見て、ナレーションが聞こえてくるような気になります。

私たちの世界は2つの海で出来ています、一つは水の海ですね。私たちはもう一つの海、空気

の海の底で生きているのです。空気の海も水の海と同じように激しく揺れ動いていますが、目に見えない空気の動きを私たちに教えてくれるのが雲なのです。雲は空に書かれた風の言葉、と書かれています。

そして、子ども達にわかりやすく雲ができるしくみや、大まかに層雲、積雲、巻雲と分けられること、それぞれの特徴などが解説されています。雲の種類は何度聞いても覚えられなかったのですが、3つくらいなら覚えられそう・・・

これからは、空に浮かぶ雲が伝えてくれるメッセージをしっかりと受け取っていきたいと思います。今まで気づけなかった発見がありそうです。

(小川)

【緑地の樹】

ノイバラ

プロフィール：バラ科バラ属

花広場の中央に、ピンク色の花が艶やかに咲いています。ノイバラです。

普通、ノイバラといえば白い花だと思っているのですが、緑地のノイバラはピンク色。園芸品種で「花車」というのがありますが、それなのでしょう。香りにつられて、ハナバチが飛び回っています。甘い蜜がでているのか、さながら虫のレストランです。花が終わったあとには真っ赤な実（ローズヒップ）がいっぱいできることでしょう。今年はローズヒップティーを作ってみようかしら。

バラは英語ではローズですね。バラって、何語から来ているのかと思って調べたら、なんと日本語由来なのだとか。いばら（うばら）がバラになったそうなのです。バラの花自身も日本原産だそうで、ちょっと誇らし気持ちになりました。

(小川)



ノイバラの実